

令和 3 年度 事業報告

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 3 1 日)

1. 総括

今年度の財団の事業活動は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初計画通りには事業遂行できなかったが、公益法人として公益性、公平性に留意するとともに、リスク回避に細心の注意を払いながら効率的・効果的な事業運営に努めた。新型コロナウイルス流行が収束しない中、5月の定例理事会、6月の定時評議員会については、オンライン会議方式で開催。令和4年3月の定例理事会はオンライン会議方式で必要な決議、報告を行うこととした。また、内閣府へは事業計画届出を済ませ、事業報告の提出、法務局への必要な登記も期限内に行う予定である。

今年度収支については、高利回りの仕組債の期限前償還が4件計4億円発生し、買換による利回りの低下は回避できず、当初計画よりも利金収入は約300万円減少となった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で健康事業が計画通り実施できなかったこと等により事業費が大幅に減少したため、800万円赤字の収支計画は約380万円の赤字となった。なお、次年度から事業収益が大幅に低下する見込みであることから、適正な事業運営を継続することが困難な見込である。ついては、基本財産の取り崩しを含む来期からの中期計画を検討策定し、3月の定例理事会にて審議決議した。

2. 事業の執行

(1) 助成事業

「調査・研究助成」は令和3年7月1日から9月10日の期間で募集を行い、「高齢者福祉助成」は令和3年7月1日から8月31日の期間で募集を行った。それらの応募案件から採択案件選考のための助成選考委員会を令和4年1月7日にオンライン会議方式で開催して審議・選考した。詳細は、第1号議案ー2「事業報告明細（案）助成事業 事業報告」の通りである。

＜表 1＞助成事業の応募状況と採択結果（各欄のカッコ内は前年度実績）

		応 募		採 択	
		件数（件）	金額（万円）	件数（件）	金額（万円）
高 齢 者 福 祉 助 成		69 (80)	876 (1,001)	59 (73)	696 (847)
調 査 ・ 研 究 助 成	福 祉 の 向 上	3 (5)	211 (294)	1 (2)	75 (88)
	健康の維持・増進	24 (26)	2,114 (2,366)	10 (7)	693 (516)

	分野横断的課題	1 (4)	100 (335)	1 (2)	75 (138)
	現場の創意工夫	4 (4)	390 (389)	1 (1)	75 (74)
	小 計	32 (39)	2,815 (3,384)	13 (12)	918 (816)
合 計		101 (119)	3,691 (4,385)	72 (85)	1,614 (1,663)

(2) 健康事業

高齢者の健康の増進を図る健康事業は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染流行の影響を大きく受けた。主催者からの申し込みにより居住地点まで出向いて実施する「健康のつどい」は、年間トータルで29回中止となり、その結果、開催回数、参加者数は大幅に減少したが、感染者数が減少した期間には、希望する主催者側と協議して参加者の制限を行い、感染防止対策をしっかりと講じたうえで実施した。なお主催者となる「健康づくり料理講習」「健康づくり教室」の各事業は、リスク回避の観点からすべて中止した。しかし「健康づくり教室」は、遠隔地でも講演予定内容を視聴できるように、昨年度に開始したビデオ制作・配信を継続して行った。当財団のホームページもリニューアルし、社会福祉協議会等とも連携して動画利用促進の周知を行った。詳細は、第1号議案－2「事業報告明細（案）健康事業 事業報告」の通りである。

＜表2＞健康事業の実施状況

	令和3年度 実績		令和3年度 計画	
健康のつどい	51回	1,432人	70回	1,750人
健康づくり教室	0回	0人	4回	360人
健康づくり料理講習	0回	0人	6回	60人
合計	51回	1,432人	80回	2,170人

3. 適正な業務の執行を行うための状況

(1) 財産運用管理委員会の診断

平成24年度に設置された「財産運用管理委員会」を本年度も令和4年2月7日に開催し、財産の管理及び運用の適正化と所有債券の診断及び今後の買換え時の購入に対する助言を受けた。

⇒助言

仕組債の期限前償還や満期償還により(5件、5億円分)、仕組債の割合が減少した。仕組債のリスクをご理解いただき、償還された債券の入替については格付や残存期間、業種・銘柄分散等を考慮しながら劣後債を購入されている。減少はしたものの仕組み債の割合は22%(5.1億円)あるため、そのリスクには引き続き留意するとともに、新規購入は控えていただきたい。日本株式の新規購入により、新たに配当のリスクや元本割れリスクが発生したが、リスクの前提に変化がないか等の定期的なモニタリングを継続していただきたい。昨今の低金利環境下においては債券全般の利回りが低くなっており、加えて新型コロナ影響等で先行きが見通しにくい状況が続いている。しかし、このような環境下においても、引き続き信用リスク等を過度にとることなく、格付や残存期間、業種・銘柄分散等を考慮した、規律を持った運用を継続していただければと考える。

(2) 寄付のお願いの実施

一般からの寄付金を募るべく、当財団のホームページに「ご寄付のお願い」を継続して掲載するとともに、グループ従業員およびOBに対しては、令和4年1～2月にかけて寄付の呼びかけを大阪ガスの社内ポータルとすずらん会のホームページに掲載した。

4. 収支状況

(1) 収 入

基本財産等の利息収入は4,259万円、年間運用利回りは1.85%(前年度1.86%)となった。

また、財団活動用の資金として、すずらん会会員様より合計30万8千円の寄付金を受けた。この結果、当期収入合計は4,318万円となった。

(2) 支 出

支出総額は4,666万円となり、その内訳は、事業費4,135万円(構成比88.6%)、管理費531万円(同11.4%)となり、予算5,400万円に対する執行率は86.4%となった。

(3) 当期収支

以上より、当期の評価損益前等調整前当期経常収支は349万円の赤字となったが、基本財産評価損が62万8千円あり、当期経常収支は411万5千円の赤字となった。さらに満期償還債券の償還差益が32万円あり、最終の当期の収支は379万5千円の赤字となった。

＜表 3＞令和 3 年度 収支決算の概要〔費用配賦後〕

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

(千円)

		令和 3 年度 予算 (A)	令和 3 年度 実績 (B)	差 額 (B) - (A)
収 入	基本財産利息収入	45,743	42,586	△3,157
	運用財産利息収入	157	158	1
	小 計	45,900	42,744	△3,156
	寄付金収入	100	308	208
	雑収入		124	124
	当期収入合計	46,000	43,176	△2,824
支 出	助成事業費	26,600	26,233	△367
	健康事業費	21,500	15,123	△6,377
	共通事業	0	0	0
	管理費	5,900	5,307	△593
	当期支出合計	54,000	46,663	△7,337
評価損益前等調整前当期収支差額		△8,000	△3,487	4,513
基本財産評価損益等		0	△628	△628
当期収支差額		△8,000	△4,115	3,885
当期経常外増減額		0	320	320
最終当期収支差額		△8,000	△3,795	4,205
前期繰越収支差額		30,493	32,450	1,957
次期繰越収支差額		22,493	28,655	6,162

5. 財産の運用及び管理等

(1) 債券等の購入

基本財産の満期保有債券の内、5 件が期限前償還され、表 4 の通り 4 件の買換えを実施し、3 件の満期償還については、現金保有しながら新たな投資有価証券の購入機会をうかがっている。

＜表 4＞ 償還債券と買換え後債券一覧

表 4-1 基本財産の期限前早期償還に伴う買替

期限前 償還	対象債券	額面	利率	買換え後の債 券	購入時 の格付	購入 価格	実質利率	満期日	証券会社
2021/4/27	野村ヨーロ ッパファイナ ンス (41693)	1 億円	4.09%	ENEOS ホール ディング劣 後債	A (JCR)	1 億円	0.97% (9 年)	2081/6/15	野村証券

2021/5/7	野村ヨーロッパファイナンス (51892)	1 億円	1.60%	日本生命第 6 回劣後ローン流動化劣後債	AA- (JCR)	1 億 95.9 万円	0.86% (9 年)	2051/5/11	SMBC 日興証券
2021/7/5	期限前償還条項付・パワーデュアル債DB	1 億円	2.74%	第 1 回丸紅劣後債	A- (JCR)	1 億 101.4 万円	0.58% (4 年)	2081/3/4	大和証券
2021/7/9	ドイツ銀行・パワーデュアル債	1 億円	3.34%	第 1 回 JFE ホールディングス劣後債	A (JCR)	1 億 44.2 万円	0.60% (5 年)	2081/6/10	みずほ証券
2021/9/30	第 3 回ソフトバンク劣後債	0.1 億円	3.00%	現金					

表 4-2 基本財産の満期償還に伴う買替

満期償還	対象債券	額面	利率	買換後の債券
2021/11/22	マッコーリー・グループ円建社債	0.6 億円	2.734%	現金
2022/1/5	大和証券クレジットリンク債 (SONY)	0.1 億円	1.20%	現金
2022/3/28	第 28 回ソニー株式会社無担保社債	1 億円	1.41%	現金

6. 総務事項

(1) 理事会の開催

①第 2 1 回定例理事会 (令和 3 年 5 月 1 9 日 於：大阪ガス本社ビル 8F)

新型コロナウイルス流行に鑑み、リスク回避の観点から ZOOM による WEB 会議を開催

<審議事項>

- ・ 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告および決算
(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 3 1 日)
- ・ 第 2 号議案 評議員会の開催並びに目的である事項

<報告事項>

- ・ 報告第 1 号 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

②みなし決議に関する理事会

令和3年6月8日 ZOOMによる定時評議員会の開催後に、理事長の選定等について理事および監事全員へ提案書を発し、6月8日中に理事全員から書面により同意の意思表示、監事全員から書面により異議なしの意思表示を得て、以下の通り決議した。

- ・理事長 尾崎 裕
(任期 令和4年6月開催予定の定時評議員会終結の時まで)
- ・常勤役員の報酬等の決定

③第22回定例理事会（令和4年3月9日 於：大阪ガス本社ビル4F）

新型コロナウイルス流行に鑑み、ZOOMによるWEB会議を開催
＜審議事項＞

- ・第1号議案 令和3年度高齢者福祉助成選考結果 及び
令和3年度調査・研究助成選考結果
- ・第2号議案 「特定費用準備資金等取扱規程」の制定に関する件
- ・第3号議案 「会計処理規程」の改定に関する件
- ・第4号議案 「基本財産」の取崩しに関する件
- ・第5号議案 特定費用準備資金の積立に関する件
- ・第6号議案 令和4年度事業計画、収支予算及び資金調達並びに設備投資の見込み
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)
- ・第7号議案 常勤役員の報酬等の決定

＜報告事項＞

- ・報告第1号 理事長及び専務理事の職務の執行の状況について
審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

(2) 評議員会の開催

第12回定時評議員会（令和3年6月8日 於：大阪ガス本社ビル8F）

新型コロナウイルス流行に鑑み、リスク回避の観点からZOOMによるWEB会議で開催

＜議事＞

- ・ 報告第1号 令和2年度事業報告（報告事項）
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)
- ・ 第1号議案 令和2年度決算の計算書類及び財産目録（審議事項）
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)
- ・ 報告第2号 令和3年度事業計画及び収支予算
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
- ・ 第2号議案 理事の選任（審議事項）

審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

(3) 第38回助成選考委員会（令和4年1月7日 於：アーバネックス淡路町ビル5F）
新型コロナウイルス流行に鑑み、リスク回避の観点から事務局以外はオンライン参加
で開催

＜議事＞

- ・第1号議案 令和3年度 調査・研究助成の助成先選考
 - ・第2号議案 令和3年度 高齢者福祉助成の助成先選考
- 以上の審議及び選考を行った。

(4) 役員等の人事

① 理事の選任

令和3年6月8日の定時評議員会の決議において、次の通り理事1名野村明雄氏が
退任され、その後任として尾崎裕氏を理事に選任した。

理事 岩田 敏郎、武田 政義、中川 和雄、奈倉 道隆、古市 健、
堀 正二、尾崎 裕、中島 紀行

② 理事長の選定

令和3年6月8日に書面による理事会を実施し決議の目的事項提案書に対して
理事全員から同意を得て、以下のことを決定した。

- ・理事長 尾崎 裕

（任期 令和4年6月開催予定の定期評議員会終結の時まで）

(5) 官庁関係

① 令和3年6月14日

法務局へ登記（理事・監事及び評議員の選任の登記）

② 令和3年6月24日

内閣府へ代表者の変更の届出（電子申請）2100107641

③ 令和3年6月25日

内閣府へ事業報告等の提出（電子申請）2100109238

④ 令和4年3月24日

内閣府へ事業計画書等の提出（電子申請）2200104273

以 上